

様式3

群馬大学生体調節研究所内分泌・代謝学共同研究拠点共同研究報告書

平成 30年 4月 12日

群馬大学生体調節研究所長 殿

所属機関名 国立がん研究センター研究所
 職 名 主任研究員
 研究代表者 塩谷文章

下記のとおり平成29年度の共同研究成果を報告します。

記

(課題番号: 16033)

1. 共同研究課題名	複製ストレスが誘導する発がん・細胞老化における ATR キナーゼの作用機構			
2. 共同研究目的	ATR キナーゼによる特異的な基質タンパク・リン酸化を同定し、複製ストレスによって誘導される発がん、細胞老化モデルにおける機能を解析する。			
3. 共同研究期間	平成 29年 4月 1日 ~ 平成 30年 3月 31日			
4. 共同研究組織				
氏 名	所属部局等	職名等	役割分担	
(研究代表者) 塩谷文章	国立がん研究センター研究所	主任研究員	発がんストレスによる ATR 活性化機構と基質蛋白の解析	
(分担研究者)				
5. 群馬大学生体調節研究所の共同研究担当教員	分野名	遺伝子情報	氏 名	山下孝之

※ 次の6, 7, 8の項目は、枠幅を自由に変更できます。但し、6, 7, 8の項目全体では1頁に収めて下さい。

次の実績がありましたら提出願います。

1. 共同研究に関連した受賞がありましたらご記入ください。

受賞者氏名	賞名	受賞年月	受賞対象の研究課題名

2. 共同研究に関連した博士学位の取得がありましたらご記入ください。

年度	氏名	大学・研究科名

3. 共同研究が大型プロジェクトの発案, 大型プロジェクトの運営, 継続, ネットワークの構築等に役だったことがありますらご記入ください。

--

共同研究活動が発展して獲得に至った大型競争的資金の情報を記入ください。

プロジェクト名	期間	受入金額 千円	支出機関 (例: 文科省)	プロジェクトの概要
ATRによるDNA複製ストレス抵抗性を介した発がん制御機構の解明	平成30年度～平成33年度	17,290	文科省 科学研究費助成事業 基盤研究 (B)	がん遺伝子によって誘発されるDNA複製ストレスに対するATR応答が発がん制御機構に及ぼす影響を解明する。

研究代表者名: 塩谷 文章